

市指定有形文化財 焼失 - 西日本防災システム

2013 10 16

10月16日午前4時55分頃、横浜市金沢区の市指定有形文化財の旧川合玉堂別邸から出火し、木造平屋建ての母屋約200㎡をほぼ全焼したようです。出火当時は無人で、金沢署と市消防局が詳しい出火原因を調べているようです。

横浜市などによりますと、この旧川合玉堂別邸は1921年(大正10年)頃に建造され、日本画家の川合玉堂が昭和初期まで創作活動をしていた建物です。かやぶき屋根の母屋には画室や茶室、台所などがあり、庭園に2本の老松があったことから、二松庵と呼ばれ、作品の題材にもなったそうです。

建物は市が所有し、NPO法人の旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会が運営を担当しているそうです。園内は毎月第1土曜日に一般開放しているそうですが、管理人は常駐しておらず、普段は無人で玄関と門を施錠していたそうです。

市によりますと、別邸内は電気が通電されており、室内の一部で雨漏りなどが確認されていたようです。

参考 川合玉堂(1873~1957) 愛知県木曾川町で生まれた日本画家です。本名は芳三郎。別号偶庵。1887年京都に出て望月玉泉、狩野派を学び、岡倉天心、雅邦を指導者とする日本絵画協会に出品し、しだいにその実力が注目されました。四条派の親しみやすい即物的作風と、狩野派の折り目正しい品格を合わせた画風を開き、第2次大戦前の日本のどこにでも見られる風景と生活を主題としました。原因はまだ判りませんが、また 大切な過去の一ページが無くなってしまいましたね。



西日本防災システム
NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 